



労働者協同組合法をどう 活用するか

2022年9月17日（土）

くらしサポートワーカーズ・コレクティブLavori

理事長 五十嵐仁美

ワーカーズ・コレクティブLavoriの設立と ミッション



設立

2017年1月 6名で設立 現在のメンバー数 45名

主な事業

神奈川的生活クラブ生活協同組合の組合員に向けた
家事代行サービスの委託

ミッション

ひとり一人が必要としているニーズに対応して
サービスを提供すること。

必要なニーズをアウトリーチすること＝孤立さ
せない

テーマ

「生きる・働く・暮らす」を重ね合わせた働き方

どのようなW. Coをめざすのですか

キーワード ディーセントワーク

★働きがいのある人間らしい仕事ができる場

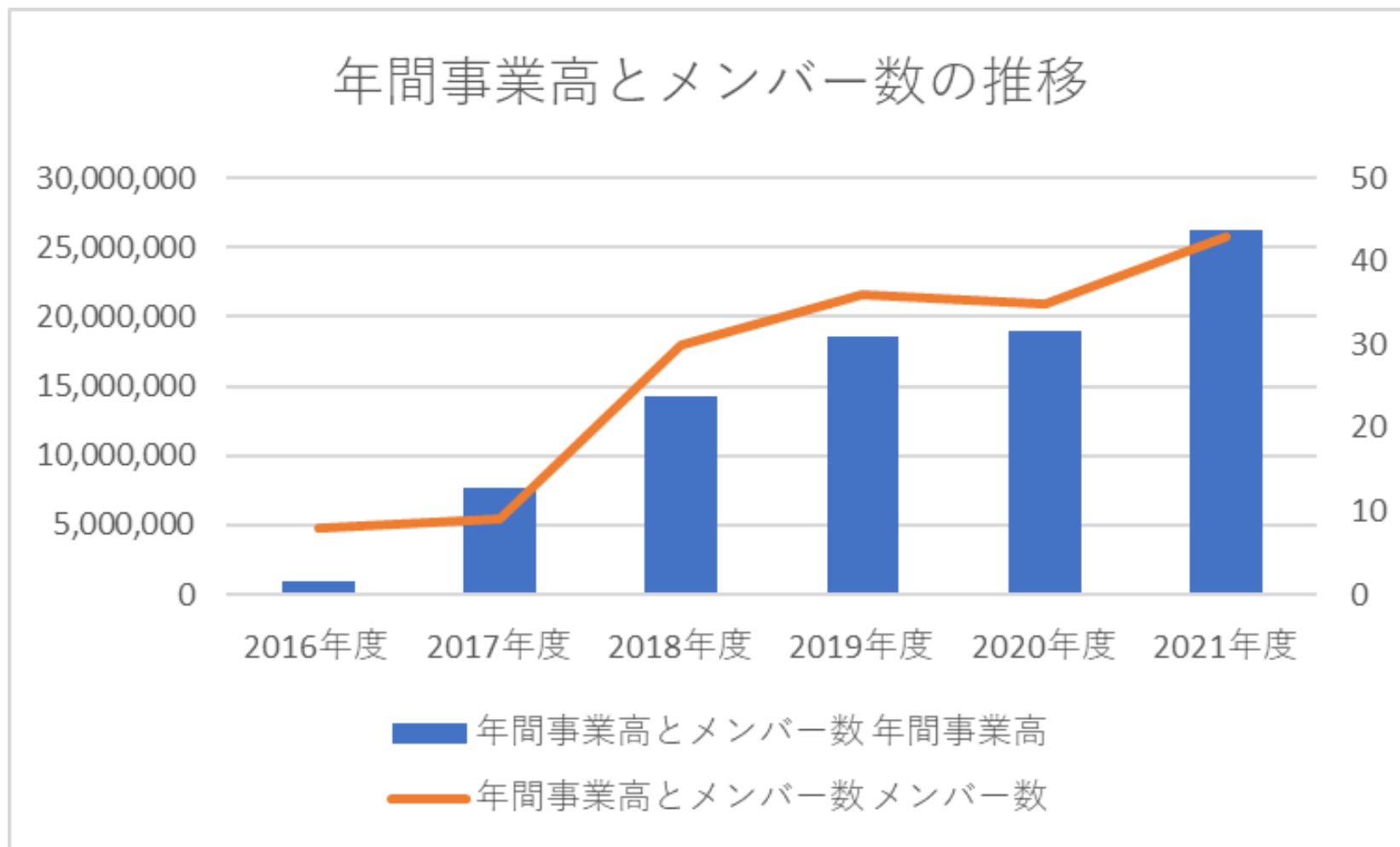
★短時間労働を受け止め、社会保険も加入できるような

働き方まで自分にあった働き方を選べる働き方をめざしています。



福利厚生
ワーカーズ共済で就業・休業の保障充実

事業高とメンバーの推移

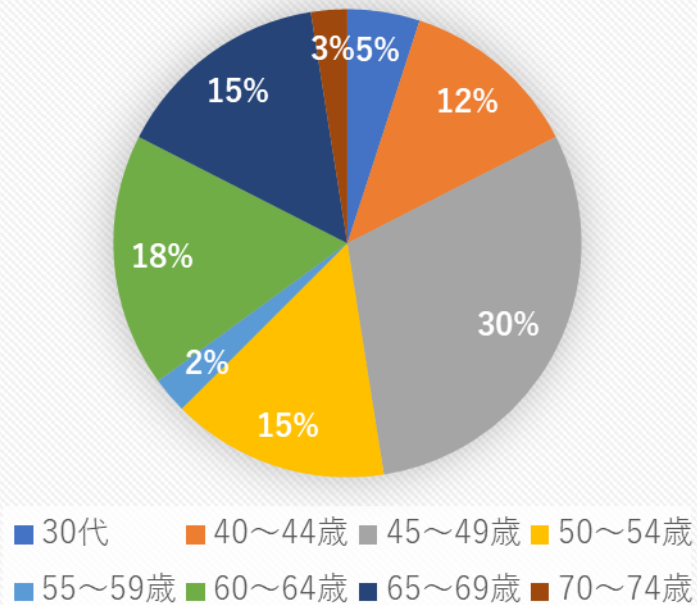


メンバーの世代構成とメンバーの意見

短時間労働・Wワークを認める働き方

Lavoriのワーカーの年代別構成

30～49歳が全体の47%占めた



W. Coに参加して感じたこと

- 30代40代前半からは、将来の不安の声
- 専業主婦をしていて10年ぶりに働こうと思い、キャリアアップ診断を受けた。主婦として家事をしてきたことをキャリアとして認められず、悔しい思いをした（41歳）
- 意見が言えて、自分の考える力がつく。
- 自分の空いている時間で働くことができる。
- 自分の意見が取り入れられ、みんなで話し合って決めることができる。
- 利用者との関係性・立場になって色々考えて提案ができる。
- 世代を超えて話し合うことができる。

労働者協同組合法は

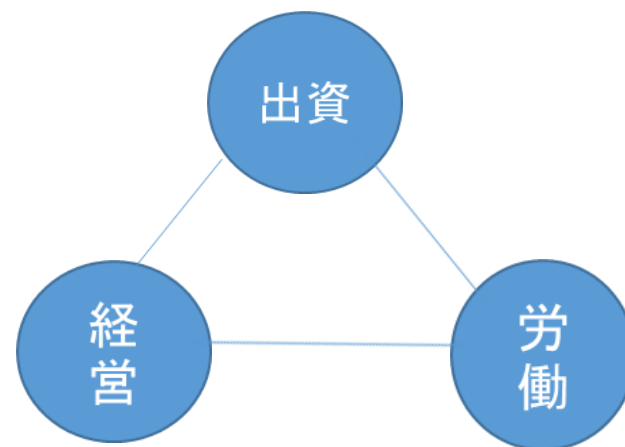
◆労協法は

「出資・意見反映・自らが従事する」この基本原理はワーカーズ・コレクティブの基本と同じ

◆協同組合の理念は

- ◎一人で解決できないことを、大ぜいの力を束ねて解決すること。
- ◎民主的な運営を広げていくこと。
- ◎協同組合地域社会の建設をすすめていくこと。

W. Coの基本



5年間の家事代行サービスを通して培ったこと

- 家事代行サービスを通して、利用者のひとり一人の「困った」が見える。特にコロナ禍の中では孤立が目立った。
- ひひとり一人のメンバーが利用者から学び取る力がすごい！
- ひひとり一人のニーズに合わせた対応力
- 掃除や片付けなどだけではなく、日常会話の会話でのコミュニケーションを高めること。
- 守秘義務を守りながら、可能な限り他の機能へアウトリーチすること。



「ケア力」に繋がります。

労協法を活用して①

- 地域の他のW. Coや他の団体などとの連携
- くらしサポート事業を組合員から地域の人たちにも提供して、豊かで暮らしやすいまちづくりを目指します。

2040年を見据えて

Lavoriの働くメンバーの現在40代のメンバーも、高齢者に差し掛かります。

団塊ジュニアが高齢者になる時が、日本の高齢化率のピークです。自分らしく最期まで地域で住暮らす。

「ケア力」を高める地域社会の形成を進めて行きたいと考えます。

労協法を活用して②

・労働者協同組合の連合組織の形成を進めます

神奈川では複数の団体が労働者協同組合法の取得を目指しています。

地域に必要な機能やサービスを、市民の参加でつくり、まちづくりを進めて行きます。

**「協同労働」をテーマに
インクルーシブな地域社会づくりを進めて行きます**

